

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立久喜高等学校	Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校の現状や課題などを踏まえて概ね適切に設定されている。創立100周年を迎えるに当たり、学校に寄せられる期待に十分応え、歴史と伝統に培われた校風を生かした、新たな学校像を模索していただきたい。
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	前年度と比べて整理され、「進路意識の向上によるより良い進路実現」を加えるなど、学校の取り組むべき方向が四つの柱として設定されている。学校関係者評価を踏まえ、課題が明確かつ具体的に示されており、日々の教育活動の指針となっている。
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて分掌・学年等のシートが作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められている。中間進捗の把握などの進行管理を工夫して、組織間の連携をさらに強化し、教職員全体の参画を促していただきたい。
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	評価項目を達成するための具体的な方策が策定されている。評価指標が、評価項目の達成度を決定する上で、判断しやすい指標となっている。教職員間で目標の達成イメージを共有し、計画的に実施するとともに、評価指標に即した達成状況の把握をさらに進めることが望まれる。
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状や課題を踏まえた明確な方針を持ち、学校経営に取り組んでいる。校長の的確なリーダーシップの下、「主体的な学びによる学力の向上」に係る取組など、教職員が共通理解を深め組織的に取り組むことが期待される。
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	年度評価や学校関係者評価などを基に、取り組むべき課題や改善策が示されている。様々な取組を検証するために必要なデータとなるように、年2回実施する生徒・保護者アンケートの工夫を進め、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。
特記事項		